

## 【金沢区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日（月）15 時 00 分～16 時 20 分
場 所	金沢区役所 5 階 1 号会議室
出席者	<p>【座 長】 谷田部 孝一 議員</p> <p>【議 員：4 名】 黒川 勝 議員、高橋 のりみ 議員、 竹野内 猛 議員、小幡 正雄 議員</p> <p>【金沢区：31 名】 國原 章弘 区長、栗原 敏也 副区長、 木村 博和 福祉保健センター長、 千田 満 福祉保健センター担当部長、 脇本 景 金沢土木事務所長、 伊藤 賢司 金沢消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	1 令和元年度 個性ある区づくり推進費区主要事業執行状況について
発言の 要 旨	<p><b>竹野内議員：</b>6 月 1 日シーサイドラインの事故について、区長はどう受け止めているか。</p> <p><b>國原区長：</b>事故があったことは残念で、怪我をされた方々にはお見舞い申し上げたい。現時点では原因不明。代替バスの運行が始まっているので、まずはツイッター等の広報活動に取り組んでいきたい。</p> <p><b>竹野内議員：</b>運行再開の目途がたたない中、シーサイドライン、市の対応等始まってはいるが、利便性の確保をお願いしたい。</p> <p><b>國原区長：</b>区としても情報収集に努めている。現状では運行再開の目途はたっていないが、状況に応じて、区でできることに対応していく。</p> <p><b>竹野内議員：</b>平潟湾クリーンアップキャンペーンに関連して、岩牡蠣の牡蠣殻のゴミが沢山捨てられ、怪我をする子供もいる状態。対応を検討してもらいたい。</p>

**石和田資源化推進担当課長**：平潟湾のクリーンアップキャンペーンは、地元ボランティアの皆様による活動。岩牡蠣にまで対応できるかは、参加している皆様と相談して決めていきたい。

**竹野内議員**：クリーンアップキャンペーンでの対応ではなく、ふなだまりの環境改善のように、局に予算を要求するなど今後考えてもらいたい。撤去は勿論だが、原因となっている牡蠣殻の不法投棄についても、区として対策してもらいたい。

観光振興事業について、事務局長の専任化により観光協会に期待することは。

**國原区長**：ソフト面での取組はマンパワーが必要と考えている。まずは、人的ネットワークを広げていただきたい。観光コンベンションビューローとの連携について協議を進める合意をした。すぐには難しいが、できるだけ早く目に見える結果が出せるよう頑張ってくださいと思う。

発言の  
要旨

**竹野内議員**：発達障害児サポート事業について、フォローが必要な子の判断はどのように行っているのか。また、把握している割合を教えてください。

**鎌田こども家庭支援課長**：乳幼児健診で、医師や保健師が子供の様子をみて判断し、面談等を行っている。正確な数字ではないが、フォロー率は10%程度と聞いている。

**竹野内議員**：金沢区版エンディングノートの特徴について聞きたい。

**大島高齢・障害支援課長**：タイトルを「これから」として、今後の人生の過ごし方を考えるきっかけとなるよう、興味や関心、取り組んでみたいことについてのページを多くしている。また、医療・介護のページは区の医師会所属の医師に監修いただいております、三師会等の意見を聞きながら作成した。

**竹野内議員**：区として、どのように活用していこうと考えているのか。

**大島高齢・障害支援課長**：今後の人生をどのように過ごしていくか、考え

るきっかけにしてもらおうとともに、家族や周囲の方とも話し合いをして本人がどうしたいのか確認していただけたらと考えている。

**竹野内議員**：遺言書としての法的効果はあるのか。

**大島高齢・障害支援課長**：法的な効力は発生しない。ノートに記載した結果遺言書が必要と思われる場合は、遺言書の作成について助言をさせてほしい。

**竹野内議員**：周知についてはどのように考えているか。

**大島高齢・障害支援課長**：7月に普及イベントを予定しているほか、区内各地域ケアプラザ等で独自の普及活動を展開し、継続的に行っていくたい。

発 言 の  
要 旨

**竹野内議員**：ノート作成の目的、役割、使い方を皆様に理解していただくことが重要だがこの点についてはどうか。

**千田福祉保健センター担当部長**：区ならではの想いを込めたノートなので、皆様のこれからの人生に具体的に役立つものにしていきたい。普及イベントに続いて、連携先の地域ケアプラザでは対面で役割や使い方などを丁寧に説明する。さらに連携の輪を広げて、例えば地域の各サロン等でも使っていただくなど、地域包括ケアや地域福祉保健計画を推進するツールとしても活用していきたい。

**竹野内議員**：いわゆるごみ屋敷問題の区内の対応について教えてほしい。

**高橋福祉保健課長**：排出支援の対象となる件数は昨年度末で7件であった。支援は、担当課を決め、社会福祉職や保健師が訪問して、ごみの自主的な撤去を促す。排出支援のほか生活支援など福祉的なサポートもあると説得している。

**黒川議員**：シーサイドライン事故対応における区の役割は大きい。工業団地や並木の住民の方々の要望を聞き、シーサイドラインや関係局へ働きか

けてほしい。現在は代替バスの本数が少ないとの声が出ている。

**國原区長**：区としては、区民の声を拾うこと、広報活動が主体となる。こまめに対応していきたい。

**黒川議員**：ラグビー、オリパラについて、区も盛り上げてほしい。

**國原区長**：関係機関と調整しながら、区としてできることに取り組んでいきたい。

**黒川議員**：小柴貯油施設跡地公園は、その地形からインラインスケート等新しくオリンピック種目となったスポーツとも親和性がある。自身もその活用を提案していくが、区でもニーズを捉えて局へ伝えていってほしい。

**八谷区政推進課長**：地元の意向は、局に伝えていく。

発 言 の  
要 旨

**黒川議員**：京急サニーマート A、B 棟が解体される。区心部の開発として京急とも相談していくと思うが、ここに区民文化センターを検討することは可能なのか。

**八谷区政推進課長**：文化施設機能整備検討では、金沢八景駅前の市有地をひとつの候補としているが、今年度は、ホール、ギャラリー、練習室等、どの機能が区内で不足しており、どのような施設のニーズがあるのか、またどの場所で整備するのが適切なのかを検討していく。

**黒川議員**：八景駅前は立地的にはよいが、面積が狭いので、ホールが作れる場所ということで候補地の一つとして検討していただきたい。

**黒川議員**：待機児童について、金沢区の状況は。

**栗山学校連携・こども担当課長**：金沢区の待機児童は0人。大きな要因として、保育園等の新設があり100名ほど増員になった。具体的には、認可保育所が1、既存の幼稚園に認定こども園を併設したものが1、横浜保育室から小規模保育事業へ転換したものが1あった。

発言の  
要旨

**黒川議員**：少子化を踏まえて、申請数は減少しているのか。定員割れは。

**栗山学校連携・こども担当課長**：申請数は、30年度3,264人、31年度3,248人で16人の微減。定員割れは、4月1日現在、14園、81人。うち0歳児の定員割れが13園、61名。0歳児の定員割れが大きい。

**黒川議員**：北部の方は待機児童が多い。金沢区は待機児童が0で、子育てしやすいと思ってもらえるようPRして、人口減少に歯止めをかけることにつなげてほしい。

**國原区長**：子育てしやすい環境ということは、アピールしていきたい。こども家庭支援課が独自に行っている事業が複数あり、拠点や地域との連携事業も進めている。今年度は子育て応援リーダーも配置し、更に充実させた。子育てしやすい環境づくりに、積極的に取り組んでいきたい。

**黒川議員**：10月の保育無償化への対応や準備していることはあるか。

**栗山学校連携・こども担当課長**：市全体で申請者数2,000人増と大幅に増えてはならず、金沢区もほぼ横ばい。窓口でも、無償化になるから保育所を希望するという声はないようだ。10月の実施に向け必要な準備を進めている。

**黒川議員**：金沢区暮らしや地域に関する意識調査について、どのような設問にするのか。

**高橋福祉保健課長**：生活や身近な地域の環境への満足度、暮らしの中の困りごと、地域での支えあいの状況、地域福祉保健計画の認知度、地域活動への参加状況、金沢区への定住意識などを予定している。

**黒川議員**：地域福祉保健計画に向けて、前回も意識調査を行っていたが、設問内容で工夫した点は。

**高橋福祉保健課長**：前回から継続した設問により、前回との対比をみたい。

発言の  
要旨

一部、新たに追加した設問もある。

**黒川議員**：市の意識調査ともリンクするのか。

**高橋福祉保健課長**：市の意識調査とも比較できるよう、共通する設問を追加した。区全体の傾向に加え、14地区の地区別の傾向等も把握したい。

**黒川議員**：対象者を分けているが、理由はあるか。また、設問は同じか。

**高橋福祉保健課長**：無作為抽出7,800人と、自治会町内会長、民生委員、保健活動推進委員等地域で活動されている方との意識の差を探るために対象者を分けている。設問も、若干異なる。

**黒川議員**：金沢区は地域活動が盛んで、それぞれ悩みや問題もあるようだ。横のつながりで課題を出し合い、解決していくような仕組みがあれば教えてほしい。

**仙台地域力推進担当課長**：例えば、金沢区空き家を活用した地域の「茶の間」支援事業を活用したサロン運営団体が2カ月に1回集い、活動する上での課題や工夫について情報交換できる場を設けている。

**國原区長**：元気な地域づくり推進事業、Campus Town Kanazawa 推進事業で、地域づくり金沢フォーラムを行っている。地域活動されている方、学生、区役所、地域ケアプラザが同じテーブルにつき、地域課題とその解決について意見交換を行っている。学生と地域の交流事業が生まれるなど、盛り上がっており、そういった大学がある区ならではの取組も進めていけたらと考えている。

**高橋議員**：文化施設機能整備検討事業で、瀬谷区や戸塚区の文化施設は評判がよいので、参考にして進めてほしい。

**國原区長**：金沢八景駅前市有地を中心に検討している。瀬谷区は機能充足型として1,500㎡ほど、うちギャラリーは200㎡ほどを整備する方向性が出ている。金沢区もギャラリーが不足していることは間違いないので、調

査を進めていく。

**高橋議員：**観光振興事業で、従来の観光協会事務局は事務的な部分のみ行ってきたイメージだが、専任化された事務局長はとても元気が良く、顔が見えてきたと思う。子育て応援リーダーにも拠点で会うことができた。区としての意気込み等あれば教えてほしい。

**國原区長：**今年度予算の枠が拡充した分で、子育て支援事業の充実や拠点との連携強化を目的として配置した。子育て応援リーダーは、ケアプラザ等での勤務経験もある。金沢区の状況をすぐに把握し、こちらの期待どおりにやっていただけるのではと思う。

**高橋議員：**地域歯科医療体制整備事業について、歯科診療ユニット整備費補助金とあるが、これは何か。新規で購入するのか。

発言の  
要旨

**高橋福祉保健課長：**歯科診療ユニットは、歯の治療を行う際の設備。平成23年度以降は三師会がリースしており、それに対する補助。

**國原区長：**もともと休日急患に歯科診療もあったが、今はなくなった。金沢区の歯科医師会は維持していくべきとの考え方をとっている。土曜診療は増えているが、祝日や年末年始は手薄となるため、そこだけでも維持していきたいという強い意志があった。リース費用の一部を補助している。

**高橋議員：**ひきこもりについて、区では相談を受けつけているのか。

**栗山学校連携・子ども担当課長：**横浜市内在住の15歳から39歳までの方、その家族を対象にひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談を月2回、よこはま南部地域ユースプラザの地域連携相談員がお受けしている。

**高橋議員：**専門相談の対象外になる40歳以上の相談はあるのか。

**大島高齢・障害支援課長：**引きこもりに特化した相談窓口はない。別の相談時にそういった話が出た場合は、個々の状況に合わせて所管課へ取り次ぐなど個別に対応している。

発言の  
要旨

**高橋議員**：ごみ屋敷の件で、コンクリート塀が崩れてきそうな場所がある。見た目も危険だし、指導をお願いしたい。

**高橋福祉保健課長**：職員が訪問し、ごみの排出支援等行っている。コンクリート塀については、建築局へ連絡し、注意や指導をしてもらっている。

**高橋議員**：道路局が市内の駅近くの交差点 256 か所について調査すると聞いた。区内で対象の場所はあるのか。

**脇本土木事務所長**：区の点検対象箇所は 10 か所。過去に事故が複数発生している場所や、駅から半径 100m以内で人が滞留する場所が対象となる。現場の状況を確認し、警察と連携して対策を考えていく。

**高橋議員**：前回のどんど焼きの日程が、直前に変更された。日程が変更になる場合は、早めに知らせてもらいたい。

**小幡議員**：シーサイドラインの事故の件で、金沢文庫駅から市大病院、工業団地方面に運転されるバスの本数がとても少ない。バスの台数やドライバーの制限もあるだろうが、増便を要望してもらいたい。

区内のごみ屋敷の件数、ひきこもりの件数について把握しているか。

**高橋福祉保健課長**：ごみ屋敷は、排出支援の対象件数は 7 件。

**栗山学校連携・こども担当課長**：ひきこもりの相談は、生活支援課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課で年齢と状況に応じて個別に受けている。30年度の3課の相談件数の合計は、39歳以下は 83 件、40歳以上が 22 件、合計 105 件だった。

**小幡議員**：ひきこもりの相談があったものには対応できているのか。

**栗山学校連携・こども担当課長**：できている。

**小幡議員**：予算について、他区と比較して金沢区の特徴は何か。



発言の  
要旨

**國原区長**：18区では、金額面では大幅な違いは出ない。区づくり推進費約1億円のなかの振り分けについては、区によって違いが出ていると思う。

**小幡議員**：公会堂が完成したが、講堂の階段に手すりがないこと、緞帳と音響反射板の同時使用ができないことは、事前に分かっていたのか。

**國原区長**：公会堂の仕様では、緞帳と反射板が同時使用できないのは分かっていた。緞帳はあとから設置が決まった経緯もあり、ある程度は仕方ないと考えている。手すり等設備の不足については、例えば誘導サインは追加設置した。利用者のご意見をお伺いしながら、サイン増設や誘導の工夫、設備の追加等、市民局とも調整しながら、必要なものは対応していきたい。

**小幡議員**：3月10日に金沢八景がまち開きした。しかし、八景駅の仕様が悪くわかりにくい。また、まだ工事を行っていて完成までは1年近くあるのに、完成予定図のようなものも設置されていない。都市整備局には要望しているが、区からも話してもらおうよう、お願いしたい。